

カラダを動かす心地よさを感じることで運動が好きになる！

参加者  
募集

# カラダde 遊ぼう！創作ダンス 体験！

カラダわくわく！ココロうきうき！カラダじゅうでよむ絵本

日時

2016. 7/16 (土)  
10:00～15:00

【ステージ発表は13:30～】

対象

小学生以上どなたでも  
(一般の方も可)

定員

50名 (先着順)

参加費

100円 (保険料含む)

○持ち物：上履き、靴下、タオル、飲み物、昼食  
○動きやすい服装でお越しください。

会場

カルチャーホームすわ  
諏訪市文化センター



今年もアメリカで活躍し、サムライダンサーと呼ばれた、新村英一(ニムラ エイイチ 1897-1979)の故郷・諏訪で、遊びながらカラダを動かしていくことで、運動や表現することの楽しさを発見できるワークショップを開催します。

創作ダンスって、難しそうだと思っていませんか？

運動が苦手でも、カラダがかたくても、リズム感がなくても大丈夫！

うれしい時に飛び跳ねたり、身振り手振りで話をしたりすることもダンスです。

決まった形が無く、一人ひとりの個性豊かなカラダと感性を活かして自由な発想で動きをつくっていきます。「みんな違って みんないい」それが創作ダンスです！

今回はみんなで絵本を読んで、楽しく感じたままにカラダを動かしていきます。

子どももおとなもみんなで「感じて、動いて、クリエイトすることから何かが変わる」「創作ダンス」という遊びを体験してみませんか！

7/16 (土)

見学自由

## ●ダンスセラピー

～カラダしなやか、ココロリフレッシュ！～  
・五感を刺激して、豊かなココロを育てよう



## ●グループワーク

～絵本をカラダじゅうで読んでみよう！～  
・詩人谷川俊太郎さんの絵本を読んでみよう  
・ココロに感じたことを絵に描いてみよう  
・カラダを使って動いてみよう

## ◎グループワークの発表 (13:30～)

～ココロとカラダを使って表現しよう！～  
・文化センター(国登録有形文化財)の舞台で発表してみよう  
(一般の方もぜひお越しください)

## ●お話しと作品鑑賞

・新村英一はどんな人？  
・講師の舞踊(創作ダンス)を見てみよう！



ココロとカラダの健やかな成長に効果的なワークショップ



自由な発想を表現できる楽しみ



動きは「みんな違って みんないい」

講師：加藤 みや子（舞踊家・第20回ニムラ舞踊賞受賞者）  
馬場 ひかり（舞踊家・第36回ニムラ舞踊賞受賞者）

藤井 香（舞踊家） 時田 ひとし（舞踊家） ほか  
企画：(一社)現代舞踊協会研究企画部

主催：諏訪市教育委員会 協力：ニムラ舞踊賞運営委員会

## 【参加者からの声】

- ・いろんな人と触れ合えて良かった！
- ・今までに味わったことのない、感覚を感じた。
- ・自分からをむけたかなあと思った。
- ・ふだん自由に動くことが嫌いだったけど、「出来るな」と自信がついた。など

からだの基本的な動きができる



長野県地域発元気づくり支援金活用事業

6月8日(水)～ 電話でお申し込みください。（申・問）諏訪市教育委員会 生涯学習課  
電話：0266-52-4141(内線 595) <受付時間>9:00～17:00 (土曜日・日曜日を除く)



元気づくり支援金は  
地域づくりを応援します  
SUWA

# 現代舞踊(創作ダンス)の最前線で活躍する講師によるワークショップは必見です！

## 加藤みや子 (舞踊家・加藤みや子ダンススペース主宰) (第20回ニムラ舞踊賞受賞者)

森嘉子、藤井公・利子に師事。1978年、文化庁派遣研修より帰国後、加藤みや子ダンススペース設立。五感活用ワークショップを開始。振付家・ソロダンサーとして多くの先鋭的な作品を発表し、高い評価を受ける。また、アートフェスティバル HOTHEAD WORKS の総合ディレクターとしても活動。〈ダンス=人間史〉対談シリーズやシンポジウムなどを展開している。

主な受賞に、東京新聞主催全国舞踊コンクール第1位文部大臣賞や舞踊批評家協会賞、江口隆哉賞、ニムラ舞踊賞などがある。現代舞踊協会常務理事、日本大学非常勤講師。

## 藤井 香 (舞踊家・彩のくに創作舞踊団主宰)

幼少より両親の藤井公(第9回ニムラ舞踊賞受賞者)・利子の元、モダンダンスを始め、1978~1998年東京創作舞踊団にてソリストとして活躍。1998年彩のくに創作舞踊団を結成し、作品を発表。2006年から美術館パフォーマンス「コレオグラファーの目」を企画運営している。

主な受賞に、埼玉全国舞踊コンクール・モダンダンス1部第1位橋秋子賞、県知事賞、現代舞踊協会群舞賞、新人賞、東京新聞全国舞踊コンクール創作部門第1位文部大臣賞、埼玉国際創作舞踊コンクール最優秀賞、ローザンヌ国際新人振付家コンクール:ベジャール・バレエ・ローザンヌ賞などがある。現代舞踊協会研究企画部副部長。

## 馬場ひかり (舞踊家・馬場ひかりダンスプロジェクト主宰) (第36回ニムラ舞踊賞受賞者)

幼少より、モダンダンスを美二三枝子(第4回ニムラ舞踊賞受賞者)に師事。青山学院大学文学部英米文学科、ジュリアード・スクール舞踊科卒。1980年、文化庁派遣芸術家在外研修員(アメリカ、NY)。ニューヨークでの活動後、1999年帰国し、馬場ひかりダンスプロジェクトを発足。俳優座劇場などで、公演活動を行っている。

1979年 現代舞踊協会新人賞、2002年 舞踊批評家協会新人賞、2013年 時代を創る現代舞踊公演群舞奨励賞、2016年 ニムラ舞踊賞を受賞。現代舞踊協会研究企画部部長、美二三枝子舞踊団副芸術監督、日本女子体育大学非常勤講師。

## 時田ひとし (舞踊家)

20歳の時、母・藤里照子のもとダンスを始める。1984年渡米、ニューヨークにて研修し、ファイネス・ヤングに師事。1986年、埼玉舞踊コンクール 第1位。1989年文化庁在外研修員としてドイツに渡り、ハンス・ツーリッヒ、コウノ・エッケレルらに師事する。以降様々な舞踊作家の作品に出演し、自らの作品も不定期に発表している。

1986年 橋秋子賞、1987年第1回村松賞、1988年 現代舞踊協会特別新人賞を受賞。主な作品“女優”、“化粧”、“人生は過ぎゆく”、現代舞踊協会研究企画部副部長。

助手 木原 浩太 細川 麻実子 江藤 裕里亞 黒木 恵香 四戸 由香

## 今年は高島小学校でも創作ダンスのワークショップを行います。

期日：7月15日（金）

新村英一が卒業した高島小学校で児童を対象に創作ダンスのワークショップを行います。

身体をほぐし、忍者ダンスなどをしながら、自由な発想で動きを創っていきます。

作品の発表は、7月16日（土）に諏訪市文化センターで行う予定です。

見学をご希望の方は生涯学習課までお問い合わせください。



## 新村英一とニムラ舞踊賞 一東洋と西洋の融合に未来の舞踊を求めて—

### 新村英一 (1897-1979)



1897年(明治30年)、現在の諏訪市上諏訪に生まれる。

1918年に単身渡米後、舞踊家を志し、セント・デニスやテッド・ショーン等に学ぶ。

1930年、ニューヨークで第1回発表会を開き、舞踊における東洋と西洋の融合を讃えられ、「サムライダンサー」と呼ばれる。

1932年~36年にヨーロッパ20カ国を巡業、1937~40年には全米とカナダを巡業し、各地で熱烈な支持を受ける。

1940年、カーネギーホールに総合的な舞踊学校「バレエ・アート」を開き、後進を育成する。

1945年、メリーマーチン主演のミュージカル「琵琶記」の演出と振付を担当するなど多彩な活動をかさねる。

1969年、「国際文化交流における多年の貢献」に対し、日本政府から勲六等瑞宝章を贈られる。

新村は渡米してから亡くなるまでの約60年間、一度も日本に帰国することはなかった。しかし、故郷を思う気持ちはいつも忘れず、海外に流出していた森徂仙の六曲一双屏風「猿十二題」を入手し、諏訪市美術館に寄贈している。

また、戦前・戦後を通じて、宝塚歌劇団や歌舞伎などのアメリカ公演や諏訪地方の精密工業会代表のアメリカ進出にも温かい手を差しのべた。

さらに、日本の後進育成のために私財を拠出し、これを基に1973年、「ニムラ舞踊賞」が創設された。この賞は、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスの舞踊家、振付家など、我が国の舞踊芸術の発展に著しく功績のあったアーティストに贈られ、新村の故郷である諏訪市で授賞式を行っている。日本の舞踊、バレエ界を代表する選考委員が、その責任において厳選し、国内においては舞踊界、バレエ界を対象とした賞があまり多くないことから、「小さくて大きな賞」として注目されている。